

# Translational and Regulatory Sciences Symposium

第6回

## 生体機能高分子の 構造解析研究が切り開く 創薬の未来

事前申込要  
参加費  
不要

近年のArtificial Intelligence (AI:人工知能) の技術革新は目覚ましく創薬分野への応用も著しい本シンポジウムでは蛋白質構造解析のためのAIプログラムとして開発されたAlphaFoldと生体分子の立体構造解析に革命を引き起こしたクライオ電子顕微鏡を取り上げるまたレギュラトリーサイエンス側からはバイオ医薬品の適正な構造特性評価や構造-機能関連の解析技術について講演する

主催者  
挨拶

堀 正敏 AMED iD3 キャタリストユニット代表  
東京大学 大学院農学生命科学研究科 教授  
米田 悦啓 医薬基盤・健康・栄養研究所 理事長

田之倉 優 (東京大学 大学院農学生命科学研究科)  
タンパク質立体構造解析のOverviewならびにBINDSの活動

富井 健太郎 (産業技術総合研究所  
インテリジェントバイオインフォマティクス研究チーム)  
AlphaFoldを利用した創薬研究の発展へ向けて

宮園 健一 (東京大学 大学院農学生命科学研究科)  
AlphaFoldによって加速する構造生物学

橋井 則貴 (国立医薬品食品衛生研究所 生物薬品部第一室)  
バイオ医薬品の構造特性評価

木吉 真人 (国立医薬品食品衛生研究所 生物薬品部第二室)  
抗体医薬品の構造、機能解析

吉川 雅英 (東京大学 大学院医学系研究科)  
クライオ電子顕微鏡による構造解析でできること

柳澤 春明 (東京大学 大学院医学系研究科)  
BINDS支援によるクライオ電子顕微鏡測定の実際

成田 哲博 (名古屋大学 大学院理学研究科)  
クライオ電子顕微鏡による細胞骨格蛋白質構造解析

閉会挨拶 知場 伸介 日本医療研究開発機構  
創薬事業部 創薬企画・評価課 課長  
※講演タイトルは変更の可能性がございます。ご了承ください

2022 2.14 月



WEB開催 (Zoom Webinar 使用)  
13:00~17:30 (12:45よりアクセス可)



事前申込URL <https://id3catalyst.jp/j/20220214/>

〈主催〉キャタリストユニット



〈共催〉



国立研究開発法人 日本医療研究開発機構  
Japan Agency for Medical Research and Development

お問合せ：キャタリストユニット

✉ [info@id3catalyst.jp](mailto:info@id3catalyst.jp)

URL: <https://www.id3catalyst.jp/>  
TRS Journal HP: <https://www.cutrs.jp/>